

<ロータリー財団> 野島委員長
山内会員→「教育への支援に寄付いたします」。

<米山奨学委員会> 赤本委員長
山内会員→「奉仕事業に寄付させていただきます」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	28件	29,000円	107件	121,827円
財団	1件	12,000円	5件	60,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	1件	20,000円	2件	25,000円

<白井インターアクト委員長からの報告>

7/20にインターアクトの発表会に行っていました。そこで当クラブの活動について発表してまいりました。第2590地区では19のクラブがございます。当クラブは24名の桐光学園の学生さんが林先生を中心に土曜日に例会を行っています。年間の行事としては、あしなが募金に年2回(4月・9月)・川崎市清掃緑化運動を行っています。時間がございましたら是非、交流が図れると思いますのでご参加ください。また、本日イザベラが帰国します。会長と一緒に見送りにいってまいります。

本日のプログラム

<クラブ協議会> 小塚会長

年度計画の話合いをテーマに今回のクラブ協議会を行います。今年のテーマは「クラブの持続性を考える」にしています。7/11に地区拡大増強セミナーに参加しました。その際横浜西RCの金杉さんの作成した資料がとてよよくまとめられていたので、皆さんに今日お配りしています。セミナーの中では一つの提案として位置づけてくださいとの事でした。なるほどと思うことが多いのでこの資料を元に進めて行きたいと思えます。ロータリーへ参加する理由では、義理であつたり本気でなかつたりと、これは行き詰る原因になると思えます。仕事場以外で何か大切なことをしたい等の思いを会員が持つ事で、共通の目標が見えてきて、純粋な活動ができてくるのではないのでしょうか。世界と日本を比べるとかなり違いがあります。でも、これは地域性や国柄もあることですから違って当然だと思えます。あまり形にこだわらずにやっていくことが大切なのではないでしょうか。面白いのは例会が開かれている時間です。日本では「昼のロータリー、夜のライオンズ」と言われますが、世界的にみると以外に夜にやっていたりします。日本の会員減少の原因と対策についてと

いうところで「思い切り悪口を言えば?」という切り口が示されています。悪口=問題点と考えると、「制度疲労」「会費が高い」「ロータリーはもっと自由であるべき」の3つがあると思えます。日本の会費は米国の5倍です。昨今の社会情勢等もクラブによっては考えていかなければならないでしょう。親睦偏重などを現代にどうアレンジしていくか考える上で「制度疲労」については意識する必要があります。また経費の使い方についても同時に考えていくべきことだと思えます。当クラブでは会員年齢構成も入会時期分布についてもとても良い状態を維持しています。会員の年齢構成が活かせる、また頭に置いた企画を考える必要性がありますし、入会についてもこれまでの伝統を守りつつ先に挙げた問題点も意識しつつ、やっていく必要があります。それを踏まえ、補助金増強を含め国際奉仕委員会として鈴木委員長にお話させていただきます。



鈴木国際奉仕委員長

今まで社会奉仕事業でやってきた救急救命士が市に移管されました。それに伴いクラブとして、新たな社会奉仕事業を考えなければならないのですが、国際ロータリーの地区補助金の中に社会奉仕へ拠出できる予算があります。早めに当クラブでも活動を決めて行きたいと思えます。社会奉仕事業に興味をお持ちの方で、炉辺を行いたいと思えます。財団について興味がある方は事務局までお伝えください。世界的なプロジェクト(WCS)については財団の補助金だけでなくクラブの資金も使わなければならないので、簡単にはいかないと思えます。しかし、ロータリーの究極目的が世界平和、その基本は国際親善・国際理解ですので関係ないと言うのはいかがだと思えます。現状では研究段階です。2月の世界理解月間に世界奉仕に関するスピーカーを呼んでいただきたいと思えます。10月の米山奨学、11月のロータリー財団の月間についてはスピーカー予定するのではなく各委員長に様々な説明をしていただきたいと思えます。クラブの社会奉仕活動について、プロジェクトについてなにかございましたら、炉辺に参加していただき、発表・提案していただけるのが、需要が一番早くつかめるのではないかとと思えます。市では対応できないような大きな規模のものも活動可能だと思えます。そのために皆さんのニコニコにご協力いただき、地区の社会奉仕資金をお願いいたします。